



緑の園



6月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ



デイサービスセンター

だより



第108号

令和7年6月1日発行

Camel/The Snow Goose(1975)



令和7年も折り返し
の6月、水無月。
今月もどうぞよろしくです。



暦はいよいよ6月です。

6月は「水無月」とも呼ばれますが農事がすべて済んだので「みなし月」とか日照りが続いて暑いので「水無し月」などの説があるそうです。

さて、当法人では今年度より

「施設見学会」を開催することとなりました。

以前より学生さんからは遠軽町丸瀬布まではなかなか足を運びづらいという話を伺う機会が多くなりました。

そこで丸瀬布社会福祉協会では主に学生の皆さんに当法人の特色、それぞれの施設の雰囲気や日常の生活風景を実際に見て感じていただくべく「施設見学会」を開催し、直接施設までお越しいただくことが困難な学生さん等につつまして法人職員が学校等の集合場所までお迎えに上がります。(送迎地区は限定されます)

施設の中の見学できる場所は限定されますが「施設見学会」は午前11時に施設に到着してからヒルトップハイツ、デイサービスセンター、緑の園、グリーンプラザの施設を見学していただき職員からの施設の説明と質疑応答の時間を設けています。

残念ながら新型コロナウイルス感染症対策によりご利用者様との直接的な交流はできませんがまずは見学だけでも可能となります



したので私たち職員のできる限りの対応であることをご了承くださいたく存じます。

「施設見学」中、12時から昼食の時間となります。

その日提供される施設のお昼ご飯を食べていただくことにしております。

お昼のご飯を食べていただきましたら施設見学会全体を通じての質疑応答の時間を経て、遅くとも13時30分には施設を出発したいと考えております。

新型コロナウイルス感染症等施設内の状況により実施が困難なときがあるかとは存じますが、少しずつでも以前のように自由に入出りできる開放的な施設に戻ることができるよう職員一同努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



「施設見学会」のお申し込みは特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ、養護老人ホーム緑の園、地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザ等いずれかの施設に

来られる方(々)のお名前、連絡先、希望される日についてご連絡

いただきますようお願い申し上げます。(終わり)
※新型コロナウイルス感染症対応が始まって5年が経ちました。世の中はすっかり過去のこととなってしまったようですが残念ながら私たちの職業にとってはまだまだ気が抜ける存在ではなく、ご面会であったり施設への入館等の制限をさせていただいている状況です。(ごめんなさい)

先月の出来事を紹介いたします。

新緑もまぶしく、日によっては初夏の陽気にもなったり、とても過ごしやすい季節となりました。

そんな季節を心から待っていたかのように法人のすべての施設で屋外行事を実施いたしました。

グリーンプラザでは先月の初旬に桜の花を見物に出かけたり、母の日のカーネーション等、施設をご利用されているお母さんにプレゼントをいたしました。

ヒルトップハイツでも9日に母の日のプレゼントを贈らせていただきました。

28日(水)には「太陽の丘公園」の芝桜を見物に出かけております。(とてもいい天気恵まれました)

緑の園では初旬に桜の花の見物に行き、14日には「衣料販売会」を開催いたしました。

好評だったのは、天気の良い日に行った外気浴(お散歩)でしたお日様をたっぷりと浴びてとても気持ちよさそうでありました。

最後にデイサービスですがこちらも上旬から中旬にかけて「太陽の丘公園」の芝桜を観ながら帰宅の途につきました。

「太陽の丘公園」のきれいな芝桜を見ることができてみなさんとても喜んでおられました。

今月の予定を紹介いたします。

今月の屋外レクはそれぞれの施設で藤の花の鑑賞会を実施する予定となっています。

ヒルトップハイツでは今月の26日(木)午後2時より火災避難訓練を実施する予定です。(緑の園/グリーンプラザにつきましては日程は未定です)また、18日の水曜日に買い物レクで遠軽町までいきます。

緑の園では売店を14日の土曜日に開催する予定です。

その他は父の日のお祝いを予定しております。

グリーンプラザにつきましても父の日のお祝いを予定しております。

その他、職員研修を18日の木



曜日に「お年寄りの転倒の要因とその対策について」

と「移乗介護動作における介護負担の軽減」について

東京大学先端科学技術研究センター/東京大学高齢社会

総合研究機構 田中敏明シ

ニアプログラムアドバイザー様にお越しいただき講演を賜る予定となっております。



今月もどうぞよろしく
お願いいたします。

先月の出来事でご紹介できませんでしたが、先月の21日ヒルトップハイツにて「アテントアドバイザー」の相澤佳代様をお招きし様々なケースを想定した紙おむつの使用方法について教えていただきました。(ちなみにモデルが必要ということでしたので私おばらが僭越ながらモデルを務めました。似あっていたと自負しとります)

紙おむつの進化を感じた中身の濃い研修会でした。

さて、ある日のことヒルトップハイツのご利用者様の前でごあいさつをする機会があったのですが、冒頭ミヤマ



一の言葉で「おはようございます」といったらある方に「エンガルショウボウ?」と聞こえたらしいです

私(おばら)の発音の悪さが原因だとは思いますが、反省しなければならないなと思うことが私の場合普段から活舌が悪く聞き取りにくいのではないかとことです。

電話で「遠軽町丸瀬布緑の園のおばらと申します…。」と施設名と名前を伝えたつもりが先方から「①おがわさん ②おざわさん、③のざわさん、④おかださんのどれかに聞き間違われることがよくあります。その都度訂正させていただきますが申し訳なく思います。

コミュニケーションにあっては、伝えること自体は行為であって、伝わることはその成果です。私の場合はダメな見本ですね…。

今月もどうぞよろしくお願いいたします。(おばら)

